

社会資本整備審議会 道路分科会
平成30年度 第2回中部地方小委員会

1. 日 時 平成31年3月7日（木）13:00～14:30
2. 場 所 桜華会館 南館3階 桜花の間
3. 出席者委員
板谷 明美 三重大学生物資源学研究科 准教授
○内田 俊宏 中京大学経済学部 客員教授
栗原 大介 (一社)中部経済連合会 常務理事
佐藤 久美 金城学院大学国際情報学部国際情報学科 教授
高木 朗義 岐阜大学工学部社会基盤工学科 教授
◎中村 英樹 名古屋大学大学院環境学研究科 教授
水尾 衣里 名城大学人間学部人間学研究科 教授
山田 恵里 名古屋市立大学大学院経済学研究科・経済学部 講師
※敬称略、五十音順 ◎は委員長、○は副委員長
4. 議 事
平成31年度新規事業候補箇所の新規事業採択時評価
・一般国道474号（三遠南信自動車道） 水窪佐久間道路
・一般国道42号（近畿自動車道紀勢線） 紀宝熊野道路

<委員からの主な意見>

【一般国道474号（三遠南信自動車道）水窪佐久間道路】

- 災害に弱い地域であり、防災の観点からも非常に重要な道路。
- 観光地やジオパークが集積する地域であり、観光面への効果も発現する。
- リニア駅からの広域的な繋がりの拡大が期待できる。水窪佐久間道路だけの効果では無く、ネットワークとして発現する効果が重要であり着目すべき。

【一般国道42号（近畿自動車道紀勢線）紀宝熊野道路】

- 病院が少なく通院に不便な地域であり、病院へのアクセス道路となる紀宝熊野道路の整備が不可欠。
- これまでの紀勢線の整備によって、南紀みかんや尾鷲特産のブリを海外に輸出できるようになったという効果もある。
- 紀宝熊野道路単体での評価では無く、ネットワークとして評価するべき。

<結論>

- ・一般国道474号（三遠南信自動車道） 水窪佐久間道路
 - ・一般国道42号（近畿自動車道紀勢線） 紀宝熊野道路
- の新規事業化については妥当である。